

再開に向け少しずつ

屋外での競技が対策を講じて再開

各町内会の老人クラブでは、グラウンドゴルフが再開されました。6月14日、長沢地区農村公園には32名が集合。参加者はマスクを着用しプレーしたほか、こまめな水分補給など熱中症にも気を付けながら、久々のプレーを楽しんでいました。

さらに、子どもたちのスポーツ少年団の活動も再開。新型コロナウイルス感染症の影響で、約3ヵ月ぶりにみんなで活動できるとあって、張り切って練習に励んでいました。子どもたちは、「久しぶりにみんなと活動ができて楽しい」と話していました。



換気と距離を確保し、いきいき百歳体操やラージボール卓球

屋内での活動も再開しています。

舟形町生涯学習センターではラージボール卓球が、換気に気を付け、密にならないように工夫しながら行われていました。

また、各地区では、いきいき百歳体操も行われています。幅町内では、毎週15名ほどが参加。換気やマスクの着用、距離を保つなど、対策をしながら体を動かしました。

参加者は、「新型コロナウイルスの影響で出来ない時期もあったが、みんなと顔を合わせて行えることは、交流も図れ、やっぱり良いこと」と話してくれました。



町の公共施設等の利用の制限状況

3月13日
3月16日以降、利用を町民のみとし、人数も1グループ4名までと制限。

4月10日
4月15日まで休館に。

4月17日
屋内施設を5月10日まで休館。また、屋外施設は少人数で利用可能に。

5月11日
町民のみ利用可能。

6月1日
3密を避けた利用方法に努めることを条件とし、県内在住者でも利用可能に。

新たな日常に向かって

～新型コロナウイルス感染症に立ち向かう～

新型コロナウイルスの感染が徐々に収まりつつある中、緊急事態宣言が解除され、自粛などの規制は段階を追って緩められました。県内外の往来も増えてくると見込まれますが、全国的には感染が確認されている状況で、再び感染が広がる可能性は十分にあります。

国から「新しい生活様式」の4つの基本項目が示されました。ここでは、地域の活動や避難時の行動など、新たな日常生活を送るうえで押さえておきたい対策をまとめています。一緒に確認していきましょう。

日常生活を営む上での基本的な生活様式

こまめに手洗い・手指消毒

こまめな換気

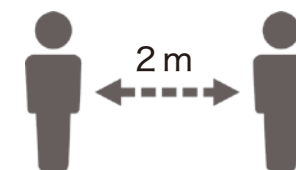
「3密」を避けるなど



一人ひとりの基本的感染対策

人との間隔はできるだけ2m空ける

感染が流行している地域への移動は控えるなど



みんなで実践 新しい生活様式 4つの基本項目

働き方の新しいスタイル

会議はオンラインで

対面での打ち合わせは換気に努めマスクを着用するなど



日常生活の各場面別の生活様式

買い物は1人ですいた時間に

食事は持ち帰りや出前を活用

自宅で動画を活用して運動など

